

ライブ
LIVE
レポート
REPORT

SMBC日興
IRフォーラム2018winter

～ニッポンの未来を豊かにする企業～

セミナー会場



4544



みらかホールディングス



取締役 執行役 兼CFO
北村 直樹 氏

～人と医療のまんなかで～

会社概要

- **臨床検査の受託サービス、臨床検査薬の製造販売を中心とした事業を展開**
- **社名「みらか」の由来と沿革**
 - ・未来「みらい」+科学「かがく」
 - ・1950年、富士臓器製薬（現・富士レビオ）設立
 - ・1970年、検査受託サービスを提供する東京スペシャルレファレンスラボラトリー（現・エスアールエル）を設立
- **キーワード**
 - ・**世界初** : 1966年、世界初の梅毒血清学的検査試薬の製品化に成功
 - ・**100カ国** : 100カ国以上の国々へ製品・サービスを供給
 - ・**4億検査** : 1年間に受託する検査数概算
 - ・**7割** : 国内染色体検査シェア7割

業績・中期経営計画

- **業績推移**
 - ・設立以来、売上高・営業利益は安定的に推移
 - ・2017/2018年度は米国病理検査事業売却の影響により減収
 - ・将来成長に向けた先行投資を加速
- **中期計画「Transform! 2020」**
 - ・既存事業の強化、R&Dの強化、海外戦略の強化、アライアンス戦略の推進に、グループシナジーを活用
 - ・アライアンス戦略の推進（共同研究、資本業務提携、共同出資会社設立）
 - ・中期計画数値目標（2019年度）
売上高2,070億円、営業利益250億円、EBITDA380億円、ROE10%以上、ROIC8%以上

事業内容・特徴

- **「人と医療のまんなかで、」検査を通じて、人々と医療をつなぐ**
- ・**検査サービス事業：**
臨床検査受託サービス。特殊検査を出発点とし、優位性を維持。大病院の約8割と取引実績。
売上高1,220億円、営業利益75億円（2017年度）
- ・**検査薬製造事業：**
臨床検査に使用する試薬・機器の製造販売。契約期間は7～8年程度で、継続的に専用試薬を供給し安定した高収益。また、世界で使われるがんマーカーの原材料を寡占的に製造。
売上高453億円、営業利益98億円（同上）
- ・**ヘルスケア関連事業：**
滅菌、治験等の医療関連サービス事業（医療行為を除く）。
売上高281億円、営業利益24億円（同上）

新ラボラトリー、株主還元

- **あきる野プロジェクト**
 - ・現在の八王子ラボラトリー群はキャパシティが限界に達し、施設・ITが老朽化
 - ・事業成長や環境変化対応が困難
 - ・東京都あきる野市に新セントラルラボラトリーを建設する計画。
敷地面積：約122,000㎡（約3万7千坪）
延床面積：約66,000㎡
受託能力は最大1日30万ID（想定）
- **株主還元**
 - ・配当性向：50%以上（特別損益等の特殊要因を除いた純利益に対する配当性向）
 - ・2018年度の配当は130円の予定